

長野県産業教育振興会 特別生徒研究助成 報告書

長野県上田千曲高等学校
生活福祉科 教諭 浅沼 智美

- 1 高等学校名 長野県上田千曲高等学校
- 2 学科・氏名 生活福祉科 笹沢 萌（ささざわ もえ）
- 3 研究テーマ 地域とのつながりを大切に、高校生の力で地域の魅力を発進
～他地域と協力して保育サポートを考える～

4 研究目的・概要

生活福祉科の課題研究の一分野に、将来長野県の幼児教育や母子支援、保育に関する社会福祉支援に携わり、未来を担う子供と保護者を支援する人材になりたいと学習を進めている「児童分野」がある。昨年度からの活動を引き継ぎ、上田市と小諸市の子育てマップの作製を、小諸商業高校と一緒に取り組みたいと進めている。今年は、マップにポップを付けた形にしたらより見やすいのではないかと、生徒自身が考えを出しあっている。子供が安心して遊ぶだけではなく、子育て中の保護者がくつろげる場の提案や、子供と保護者が一緒に楽しめる創作活動も取り入れられるような活動ができないかと検討している。また、子供と保護者への相談援助や支援体制を見学し、サポートできる体制の情報発信ができるよう学び、地域の方々を活用しやすいようにチラシなどにまとめ配布できるようにしたい。

地域の保育園と交流体験を通し、子どもの発達について学び、かかわり方や発達に合わせた遊びや学習について学習したい。

地域の中で子供を見守り、保護者へのサポートも充実することができるような活動を通し、子供を地域で育てていく環境の整備や連携について研究する。

5 研究過程

(1) 子どもとの関わりについて学ぶ

子どもと関わるなかで、名前を知ってもらいながらコミュニケーションをとるきっかけになるよう、名札作りをおこなった。保育園へ実習に伺う前に、子どもたちが親しみやすく子どもの認知度が高いキャラクターを調べ、名札作りをした。その名札を付けて、地域にある保育園で、園児との交流を通し子どもの発達を学ぶため、生徒自らが子どもの発達に合わせた遊び子を考え、実践した。

保育園での
活動の様子



(2) 保育環境について考える

今年度の研究目標である「地域の中で子供を見守り、保護者へのサポートも充実することができるような活動を通し、子供を地域で育てていく環境の整備や連携について研究する。」について、小諸市内で活動をしてきた。

保護者と子どもが、安心して遊ぶことができる場所や保護者同士の交流の場所の発信をすることで、子育て環境の充実を目的として、3年前から小諸市内と上田市内の子育てに関する場所の調査や、その情報をまとめたマップ作りを行っている。昨年までの2年間で、小諸市内の観光地を中心とした市内の調査を行ったので、今年度は小諸市内で生活をしている人たちから、生活者の視点からの小諸市を教えてもらおうと考え調査に取り組んだ。

はじめに小諸市の小諸商業高校の生徒の皆さんに今の小諸市の現状について教えてもらいながら、一緒に市内調査をしてもらった。新しくなった市街地のスーパーマーケットや公共の共有スペースなどの保育スペースやトイレなどの調査をした。高校生ならではの視点で、親子がよく買い物をしている場所や、最近のトレンドの場所など子育て世代が楽しめる場所を教えてもらった。これらの情報や調べた観光地などの情報をマップにしてまとめることができた。

また、保育に関する学習を進める中で小諸商業高校の生徒との交流や学習の機会が増え、お互いの探求学習についての交流深まった。そのなかで、小諸商業高校で行われているスマイル小商店街に保育の学習について知ってもらおうスペースを設けていただき、地域の皆さんと一緒に活動をすることができた。

小諸商業高校での 活動の様子



子どもたちと赤ちゃんの おもちゃ作りの体験



6. 研究成果

子どもたちとの交流や体験学習を通して学びを深めたいという高校生たちの思いを、地域の皆様が何とか実現しようとしてくださり、たくさんの活動を行うことができた。今後の保育分野を担っていく人材の育成にとっても熱心な方々が多く、今年度の多くの活動が実現できたのは地域の皆様のおかげである。そのため、活動を通して子どもたちと学習できた本校生徒の多くが幼児教育分野に進学した。今後さらに学習を深めて、子どもたちの育成に尽力する力をつけていきたいと話していた。

今年度の活動を、来年度以降さらに見直しと工夫を進めていきながら、生徒の学習に実りの多い体験ができるよう尽力していきたい。生活福祉科での日頃の学びを地域の皆様と協力することで還元していきながら、地域に開かれた学校になっていかななくてはならないと考える。